

**製品名: AGL ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86614**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:175 kDa; Observed MW:175 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AGL
別名	GDE
遺伝子 ID	178
SwissProt ID	P35573
免疫原	ヒト AGL の合成ペプチド

**背景**

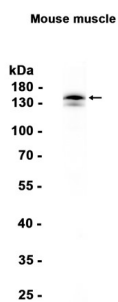
この遺伝子は、グリコーゲン分解に関与するグリコーゲンデブランチ酵素をコードしています。この酵素は、タンパク質上の異なる

部位で2つの独立した触媒活性、すなわち 4- $\alpha$ -グルコトランスフェラーゼ活性とアミロ-1,6-グルコシダーゼ活性を有しています。この遺伝子の変異はグリコーゲン貯蔵病と関連していますが、酵素活性および臨床的变化には幅広いばらつきがあり、これは組織特異的な選択的スプライシングに起因する可能性があります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写産物が報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



db15947 を 1:1000 で使用してマウス筋肉組織抽出物のウェスタンブロット分析。